

2021「平和の夕べ」コンサート

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
An Evening of Peace Concert 2021

Program

ゼレンカ(下野竜也編曲):「ミゼレーレ」ハ短調より(管弦楽版)

Zelenka (arr.Tatsuya Shimono): Miserere in C minor XWV57

ベートーヴェン:葬送行進曲(交響曲第3番「英雄」より第2楽章)

Beethoven: Marcia funebre (Symphony No.3 "Eroica" ~2nd mov.)

リヒャルト・シュトラウス:

メタモルフォーゼン(23独奏弦楽器のための習作)

R.Strauss: Metamorphosen (Study for 23 solo strings), TrV290

J.S.バッハ(レーガー編曲):

コラール前奏曲「おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け」

J.S.Bach (arr.Regar): O Mensch, bewein dein Sünde groß BWV622

ブリテン:シンフォニア・ダ・レクイエム

Britten: Sinfonia da Requiem

コンサートマスター:佐久間 聡一

Concertmaster: Soichi Sakuma

指揮:下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

祈り

2021

8/5 木

18:45開演 (17:45開場)

Thu August 5, 2021 Start 18:45 [Open 17:45]

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

◆チケット発売日/2021年6月7日(月)

◆チケット料金/S席:5,000円 A席:4,000円(学生:2,000円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い) ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。 ※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

◆プレイガイド/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局、チケットぴあ(Pコード193-029)、ローソンチケット(Lコード62067)

■主催/広島市、公益財団法人広島市文化財団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■助成/  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

広島交響楽団

2021「平和の夕べ」コンサート

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
An Evening of Peace Concert 2021

下野竜也の「祈り」が一杯に詰まったプログラムである。

バロック時代の合唱曲を自らオーケストラに編曲したミゼレーレに続いて、ベートーヴェンの葬送行進曲が間を開けずに演奏される。

動から静へと、魂を鎮めるように。ベートーヴェンの音楽にも感情を揺さぶられるが、

続くリヒャルト・シュトラウスでは同じ葬送のモチーフからの変容により、弦楽のうねりに心が飲み込まれていく。

後半はバッハからの編曲で、静なる祈りを奏でるが、終曲ブリテンの冒頭で全てを打ちのめしてしまう。

抑えていた感情が徐々に溢れ出し、近代オーケストラの大編成がもたらす凄まじいまでの内なる叫びはさらなる激情を呼び起こす。

全てを吐き出した魂は疲れから徐々に癒され、最後は宇宙的な和声と天上の音楽により魂は浄化される。



©Naoya Yamaguchi

下野 竜也

Conductor :
Tatsuya Shimono

Profile

広島交響楽団音楽総監督 (2017年4月就任)。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アテキエヌ管、ロワール管、コートダジュール・カン管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。

これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者 (2006年11月～2013年3月)、同団首席客演指揮者 (2013年4月～2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者 (2014年4月～2017年3月)、同団常任首席客演指揮者 (2017年4月～2020年3月) を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度 (第63回) 芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com/>

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace～音楽で平和を～」をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスター



のフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。公式ホームページ<http://hirokyo.or.jp/>